

第4回(p3) <http://pombo.free.fr/me1848.pdf>

La découverte de l'Amérique, la circumnavigation de l'Afrique offrirent à la bourgeoisie montante un nouveau champ d'action. Les marchés des Indes Orientales et de la Chine, la colonisation de l'Amérique, le commerce colonial, la multiplication des moyens d'échange et, en général, des marchandises donnèrent un essor jusqu'alors inconnu au négoce, à la navigation, à l'industrie et assurèrent, en conséquence, un développement rapide à l'élément révolutionnaire de la société féodale en décomposition.

アメリカ大陸の発見、アフリカ航路の発見は、やがてくるブルジョワ階級に新しい行動分野を提供した。東インドや中国の市場や、アメリカへの植民、植民地貿易、交換手段や総じて商品の増大は、この当時までは全く知られていなかったようなビジネスチャンスを、商業や航海や工業に与えるとともに、崩壊しつつある封建社会の中の革命的な要素に急速な発展を与えた。

従来の閉鎖社会の中では、ブルジョワ階級と言っても別にそれだけで特権という地位にあったわけじゃない。つまりもう既得権益の世界はできていて、その既得権益の世界を誰かが占有してしていれば、お終いだっただんですよね。それが新大陸の発見とかアフリカ航路の発見によって、アジア市場が開けるわけね、巨大なマーケットですよ。

révolutionnaire というのは、日本人は革命という言葉でひたすら暴力的な革命をロマンティックに夢想する。révolution とは元々回転という意味ですね。つまり革命的な要素というのは、崩れつつある封建社会がいつまでもズルズルと少しは伸びつつあるところに、言ってみればそれがひっくり返るようなどんでん返しが起こるような大きな変化のこと。革命と言ったからといっていわゆる共産主義革命のことを意味しているわけではない。封建社会が終わるというのも一つの革命的なわけですね。コペルニクスの有名な本は、天球の回転(De revolutionibus orbium coelestium)についてという題ですけど、それをコペルニクスの転回とか革命とか誤訳する人がいるんですけど、要するに回転していると言うことです。

L'ancien mode d'exploitation féodal ou corporatif de l'industrie ne suffisait plus aux besoins qui croissaient sans cesse à mesure que s'ouvraient de nouveaux marchés. La manufacture prit sa place<sup>2</sup>.

封建的ないし協同的な産業の古い経営様式は、新しい市場が開拓するに合わせて、止まることなく増大する需要を満たすのに十分ではなかった。手工業がその地位を取った。

P3<註2>

La manufacture marque la transition entre l'atelier de l'artisan et la grande industrie. Un

certain nombre d'ouvriers y travaillaient individuellement sous la direction d'un patron et sur un métier qui avait déjà cessé de leur appartenir.

手工業は職人のアトリエと大産業の間の移り変わりを示すものである。そこで数多くの労働者が、一人一人個別的にボスの指示の下で働いていた。そして彼らを雇うことをもう既に終えているところの *métier* に対しては上の立場で。

*manufacture* は、資本主義的な生産様式によって取って代わられる前の、最初の *industrie* なのですね。日本では手工業って直訳なんです。

元々はフランスのアトリエは本来、職人たちは自分のはたらく職場っていう、道具があり材料があり、雑多なものが色々と転がっている、私の勉強部屋みたいなものですよ。それが *atelier* アトリエですね。アトリエで作られていたんですよ。典型的なものは例えば刀とか武器から、包丁のような日常的な道具から、あるいは農具。工場で作られているのではなくて、職人たちのアトリエで作られていたんですよ。

*métier* は昔の主人なんじゃないんですか。けどもう *métier* は雇うこともできなくなっちゃうんですよ。その *métier* に対し上。 *métier* が雇っていた時代が終わって *manufacture* マの時代になって、職人たちはそのパトロンの下で独立に仕事をしている。けれどかつてのような自分の雇い主に従うのではなく、むしろ上に立っている。

La classe moyenne industrielle supplanta les maîtres de jurande: la division du travail entre les différentes corporations céda la place à la division du travail au sein de l'atelier même.

工業的中産階級はギルドの親方にとって代わった。異なる *corporation* (組合) の間の分割だったのに、同一の同じアトリエ自身の中での仕事の分割へと譲り渡した。

Mais les marchés s'agrandissaient sans cesse: les besoins croissaient toujours. La manufacture, à son tour, devint insuffisante. Alors la vapeur et la machine<sup>3</sup> révolutionnèrent la production industrielle. La grande industrie moderne supplanta la manufacture; la classe moyenne industrielle céda la place aux millionnaires de l'industrie, aux chefs de véritables armées industrielles, aux bourgeois modernes.

しかし市場の拡大は止まることを知らなかった。需要は常に増大していった。マニユファクチュアといえだんだん需要に応えるだけの十分なものではなくなっていった。同時に、蒸気機関が工業生産に大転換を引き起こした。近代的大工業はマニユファクチュアにとって変わった。工業的中産階級は、工業的百万長者たち、工業的に真に武装をした主人(工場主)に自分達の地位を譲った。すなわち現代のブルジョワに。

この部分が大切だと思うんですよ。要するに機械ができたことによって、工業製品を作るのが機械になるんですね。人間は機械を操作するだけの人になるわけです。今や機械を操作するのも人工知能になって、プログラマーだけが労働者ということになる。でも古典的な意味での労働による価値というのが、マルクスエンゲルスが信じていたのは、まだこの工場によって物は生産されて価値が生まれるという風に思われていたからですけど。素朴な意味での労働ってというのは、仕事をしているのは石油であったり、石炭であったりしているだけで人間じゃない。20世紀はそういう時代だったと思います。農業なんかでさえマルクスが言ったようなのではなくて、もはやガソリンエンジンが、あるいはコンピューター部品が活躍する世界になっている。

P3<註3>

La machine-outil a modifié la production et les rapports de l'homme à l'objet de son travail: les outils étant jusqu'alors manipulés par la main de l'homme, celui-ci était l'auteur intégral de la transformation de la matière. Avec la machine, c'est un mécanisme de plus en plus adapté qui donne son mouvement à l'outil, l'ouvrier n'ayant plus qu'une intervention parcellaire «à distance». La machine à vapeur, dont l'emploi n'est généralisé en Angleterre que vers 1790, n'est en quelque sorte qu'un appendice de la machine-outil; mais en remplaçant les forces motrices traditionnelles, elle donnait à la révolution industrielle son véritable élan. La part de l'ouvrier dans le processus global de production était de plus en plus réduite, son travail de plus en plus «répugnant». Envisageant le développement à l'infini des forces productrices qui permettrait d'abolir cette division du travail et de créer un homme nouveau, Engels, dans les *Principes* faisait allusion à ce que nous appellerions aujourd'hui la révolution scientifique et technique.

工作機械は、生産と自分の労働の目的に対する人間の諸々の関係を変革してしまった。諸道具はこれまで人の手によって創られてきたのであるが、彼は素材の変換の全体を統一して見ることのできる制作者（著者）であった。機械とともに、道具に動きを与えるのは、ますますより良くなっていく機械化である。労働者はもはや《離れたところで間接的》にしか関わりを持たなくなった。蒸気機関を採用することは1790年頃まではイギリスではようやく一般化したものだが、蒸気機関は工作道具の付録のような物ではもはやなかった。

蒸気機関は小さな道具ではなくて、もう本当に社会を変える、工場を変える大変革をもたらすわけですよ。

しかし、伝統的な駆動力を置き換えながら、蒸気機関は産業革命に本物の勢いを与えた。労働者の役割は全体の生産のプロセスの中でますます小さくなった。仕事はますます《矮小なもの》になった。仕事の分割そして新しい人間の創造を可能ならしめるのは、この生産力の限りない発展であることを視野に置きつつ、エンゲルスは、*Principes*「諸原理」という本の中で、今日科学革命そして産業革命と呼ぶところのものに対して、このように言及している。

*révolution scientifique* は、20世紀の代表的な歴史用語で科学革命という、ガリレオガリレイによって始まった新しい人間の認識の革命ですよ。数学的に自然ができているという考え方、その自然数理科学に基づいて技術が大発展をしていわゆる産業革命がもたらされるわけです。*révolution technique* は技術革命とは言わなくて産業革命ですね。

でも、科学革命とか技術革命が人類にもたらした悪影響はとんでもないことですよ。人間を惨めにしてしまう。労働の喜びから、人間を、金を受け取る道具にしてしまったんですよ。楽園追放ですよ。労働者一人一人が生きてきた誇りとか喜びを全て失う、そういう社会になっちゃったわけですよ。

ブルジョワジーがいるからいかんと、マルクスは一言も言っていない。ブルジョワジー対プロレタリアートというふうに階級対立は純化していかざるを得ない。その他のものは全部削ぎ落とされていく。というのがマルクスエンゲルスの歴史に対する認識で、行き先は共産主義革命にしかならない。それによって初めてこの矛盾から解放される。農民の革命なんてマルクスは夢にも思ってもいない。釜とハンマーとかそんなのはレーニンがでっちあげた出鱈目ですよ。